

専用WEBサイト  
特別企画

## インフルエンザとノロウイルスの 対策を徹底確認!

	インフルエンザ	ノロウイルス
病原微生物の特徴と治療		
潜伏期間 (病原体に感染してから、発症までの期間)	1~2日間	1~2日間
感染性期間 (罹患した人が感染力を示す期間)	成人：発症1日前~発症後5日間まで 小児：10日以上感染性を示す	発症2日前~発症後2週間まで
治療	発症後、2日間以内に治療を開始	対症療法が中心
曝露後予防投与	初発患者の発症後2日間以内に、曝露者に承諾を得て、予防投与を開始する	なし
感染対策の実践		
隔離予防策	標準予防策 + 飛沫予防策	標準予防策 + 接触予防策
感染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>流行前のワクチン接種が非常に重要</li> <li>手指衛生の徹底(職員・患者・家族)</li> <li>呼吸器衛生/咳エチケット</li> <li>診察時はサージカルマスクを着用し、激しい咳の患者のときはゴーグルを着用する</li> <li>通常的环境対策を実践するが、ドアノブ、手すりやベッド柵などの高頻度接触表面は清掃の回数を増やす</li> <li>汚染リネンは特別に扱う必要はなく、通常の洗濯を実施する</li> <li>食器類は通常の対応でよい</li> <li>市中でインフルエンザ流行の兆しがあれば、外来受付や外来採血室などの職員にサージカルマスクの着用を開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石けんと流水による20秒間の手洗いの徹底(職員・患者・家族)</li> <li>下痢・嘔吐のケアは、手袋・ビニールエプロン・サージカルマスクを着用する</li> <li>失禁患者では、オムツ交換の手順を遵守する</li> <li>嘔吐物や下痢で汚染した廃棄物は飛び散らないように、エアロゾル化しないように静かにビニール袋に入れて感染性廃棄物として廃棄する</li> <li>血圧計やパルスオキシメータ、聴診器などの使用物品は個人専用とする</li> <li>トイレ内の便座、水洗ノブなどは使用ごとに清掃する</li> <li>ドアノブ、手すり、ベッド柵など高頻度接触表面の清掃を徹底する</li> <li>集団感染時は清掃と消毒の回数を増やす</li> <li>集団感染時は1,000~5,000ppm(0.1~0.5%)濃度の次亜塩素酸ナトリウムによる環境消毒を行う。ただし、消毒前に、便など有機物を清掃し取り除いておく</li> <li>汚染リネンはウイルスの飛散を避けるため振らないよう慎重に処理し、洗濯する</li> <li>食器類は通常の対応でよい</li> </ul>

